

フードテック、代替タンパク質に関する最近の技術動向

日時：2021年 9月 9日(木) 13:30～

会場：食情報館 <東京都中央区八丁堀2-14-4 ヤブ原ビル6階
日本食糧新聞社 内 1階はマルエツプチ>

参加費：一般受講ご希望者 16,500円(税込)
【食品ニューテクノロジー研究会 会員企業は無料になります】



座長：雪印メグミルク(株) 常務執行役員 研究開発担当 川崎功博氏

「国連の予測によると、2050年には世界の人口は2019年の77億人から97億人にまで膨らむと予想されている。このような人口爆発では、現状のままの食糧供給体制では対応できないという危機感がある。なかでも3大栄養素のうち動物に依存することが多いタンパク質の不足が懸念され、近年大豆由来など植物性タンパク質の活用のみならず、昆虫由来のタンパク質の活用や培養肉の開発などの技術が急速に進歩している。今回、食における新たな潮流であるフードテックの動向と代替タンパク質に関する最近の技術動向を講演いただく。皆様のご参加お待ちしております。

【講演1】 13:40～ 14:50

フード&アグリテックの事業動向と代替タンパク分野の グローバル先進事例

野村アグリプランニング & アドバイザリー(株) 調査部長 主席研究員 佐藤光泰氏

<https://www.nomuraholdings.com/jp/sdgs/article/007/>

【講演2】 15:00～ 16:10

次世代タンパク質に関するフードテックの動向

三菱総合研究所 主席研究員 木附 誠一氏

<https://www.mri.co.jp/company/staff/0378.html>

※※ 講師紹介は裏面をご覧ください。 ※※

【座長まとめ】 16:10～ 16:30

■Webセミナーも実施します。 ZOOM使用

日本食糧新聞社 (食品ニューテクノロジー研究会)
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-14-4 ヤブ原ビル7階
TEL03-3537-1310 FAX03-3537-1071

講師 紹介

フード&アグリテックの事業動向と代替タンパク分野の グローバル先進事例

野村アグリプランニング & アドバイザリー(株) 調査部長主席研究員
佐藤光泰 氏

国内外の農と食のビジネスが大きな転換点を迎えている。人口増加によりタンパク質の需要は増加する一方、第一次産業の従事者の高齢化や環境・資源制約などにより供給の不安定さが増している。カギとなるのはデジタルやバイオ、ロボットなどの新たな技術活用である。農と食分野の新たな技術導入を総称して「フード&アグリテック」と呼ぶが、不安定な世界の食料需給バランスを改善する「第3次農業革命」をもたらす期待が高まっている。

また、SDGsや「脱炭素」の考え方の普及は、従来の農と食の在り方も一変させる可能性がある。畜産分野が地球環境にもたらす負の影響が指摘される中、2019年半ばから、植物肉や培養肉、昆虫食などの代替タンパク市場が世界中で急拡大しているのは代表例である。筆者は2030年に従来の畜産製品(牛肉や豚肉、鶏肉)のうち18%が代替タンパク製品に置き換わるものと推測しているが、畜産現場や食品流通への影響が予期される一方、周辺分野も含めた新たな市場創出も期待される。

本講演では、まず、簡単にフード&アグリテック市場の全体を俯瞰し、その後、当市場の最注目テーマである代替タンパク分野のグローバル先進事例を主に紹介しながら、当分野の事業環境と展望をお伝えしたい。

次世代タンパク質に関するフードテックの動向

三菱総合研究所 主席研究員 木附 誠一氏

発展途上国や新興国を中心とした世界的な人口増や経済成長により、食料需要は大きく増加。一方、国際情勢の変化、気候変動による食料生産の不安定化、環境負荷削減でのバイオ燃料へのシフトなどを背景に、長期的な食料の安定供給に対する懸念が高まっている。そうした中、生活者や企業からも現状の食料システムが抱える諸問題に対する関心が高まり、環境・社会・経済的基盤を損なわずに食料や栄養の確保を実現するための持続可能な食料システムの構築が求められている。特に、途上国の経済発展に伴い、世界的に大きな需要の伸びが予想されているタンパク質は、持続可能かつ生産性向上を実現するソリューションが求められている。

今後、世界的な食料調達の激化が予想されるなかで、ゲノム編集技術の活用、植物性タンパク質、培養肉、昆虫利用、藻類利用などを新たな素材を活用した持続可能なサステナブルなタンパク質の食品(サステイン・フードと称す)に係る技術や商品の開発が進んでいる。我が国においても、将来にわたる食料の安定供給を確保しつつ、今以上に豊かな食生活を通じた高いQOLを実現すべく、昨年、企業や関係省庁、研究機関等で構成する「フードテック官民協議会」が立ち上げられている。本講演ではこれらサステイン・フードの技術や関連ビジネスの動向について紹介する。

フードテック、代替タンパク質に関する最近の技術動向



- ◇ 申込後、請求書を発行いたします。
- ◇ メールにてご連絡いたします。

FAXで 03-3537-1071 までお申し込み下さい。

会社名			
住所	〒		
TEL			
○印	部署／お役職	お名前	E-mail or FAX
来場 / Web			
来場 / Web			
来場 / Web			

0904



会場案内



最寄駅
 JR 東京駅 八重洲中央口 徒歩12分
 JR 京葉線 八丁堀駅 A3 出口 徒歩7分
 東京メトロ日比谷線 八丁堀駅A5 出口 徒歩2分

◎セミナー情報

<http://bit.ly/Ke3If3>

◎セミナー申込サイト

<https://forms.gle/WLPzfqN365kAmeR79>

次回案内

■Webセミナーも実施します。 ZOOM使用

2021年 10月 日(水) 13:30～ 食情報館

「食によるヒトの健康状態を計測するデータサイエンス」

座長：東京大学大学院 農学生命科学研究科 特任教授 阿部啓子 氏

講師：摂南大学 農学部 教授 井上亮氏

浜松ホトニクス(株) GSCC・BAプロジェクト 主査(博士)数村公子氏